

## 5. 大学教職員の職能開発及び大学教員の表彰

### 5-1 情報通信技術を活用した優れた授業研究の評価と表彰

教育改善のための情報通信技術活用によるFD（ファカルティ・ディベロップメント）活動の振興普及を促進・奨励し、その成果の公表を通じて大学教育の質的向上を図ることを目的として、平成5年度より「全国大学IT活用教育方法研究発表会」を実施しており、文部科学省の後援事業としている。また、6年度から本発表会の最優秀賞として、文部科学省より文部科学大臣賞の交付が認められている。発表会の運営・実施は、教育方法研究発表会運営委員会（委員長：東村高良、関西大学）を継続設置し、以下の事業を実施した。

#### （1）全国大学IT活用教育方法研究発表会の開催と表彰

本発表会の趣旨が申込者により理解されるよう、募集要項の中で教育改善の目的を明確にすることを義務づけることにした。また、文部科学省中央教育審議会の答申「学士課程教育の構築に向けて」でも初年次教育を重視していることを受け、選択の対象を拡大した。この他、申込書の「教育改善成果の確認方法」の中で「学内の同僚による評価」には評価した人数、「学外による評価」には評価主体の記入欄を設けることにし、教育改善による成果をより明確化することにした。

選考は、選考基準を保つため、例年通り選考委員会の構成は運営委員会と同一とした。選考委員が対応できない専門外の分野については、必要に応じて専門委員を外部から招聘し、評価を行い、その結果を参考に最終的に選考を行うことにした。また、発表内容の質を高めるため、教育効果の向上に役立つ授業方法や工夫の紹介を特別セミナーとして実施した。21年度は経営学教育におけるシナリオ設計を重視した事例を紹介することにした。

1次選考は、21年7月4日にアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に、53件の発表があり、教育改善の目的、問題の所在、教育改善の内容と方法、教育実践による改善成果、成果の発展性の5つの視点から選考を行い、9件が2次選考に推薦された。なお、発表会には、発表者を除き162名が参加し、昨年度より85名ほど減少した。詳細は、資料編【資料12】を参照されたい。

2次選考は、21年9月5日に私学会館を会場に9件の発表があり、選考委員会の結果について運営委員会にて選定の結果、以下の通り「私立大学情報教育協会」2件、「奨励賞」1件を決定し、21年11月25日の第53回臨時総会にて表彰した。

#### ★私立大学情報教育協会賞（2件）

「薬・医・歯・保健医療学部横断PBLにおける自己主導型学習」

昭和大学薬学部 大林 真幸、他10名

「問題解決能力育成を目指した薬学型PBLと支援システム」

名城大学薬学部 大津 史子、他11名

#### ★奨励賞（1件）

「Webリフレクション・ペーパーによる授業改善と学習管理力の向上」

常磐大学国際学部 北根精美

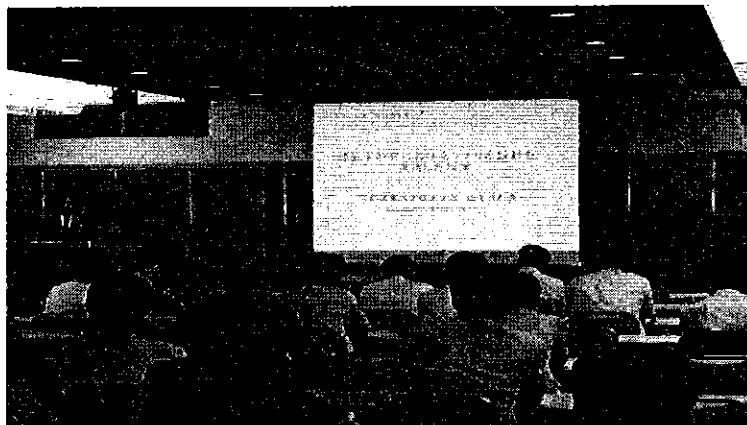
## (2) 発表会および論文誌発行の運営

1次選考に多くの関係者が参加できるよう、例年同様に過去の発表会参加者や他の職能開発事業への参加者、本協会の調査回答者、機関誌読者に広く呼びかけるとともに、開催要項を学部長、学部長、FD関連部門をはじめとする関係者、関係機関に配布した。論文の選考に際しては、以下の通り論文執筆規程により対応した。なお、論文の関連内容を電子媒体でも見ることができるよう、例年同様に執筆者から提供された図表、発表スライドなどのデータをCD-ROMに収録し、論文誌に添付した。

## (3) 次年度に向けての改善

22年度に向けて次のように改善することにした。

- ① これまで本発表会の選考は1次と2次の2回の発表により行っていたが、発表者の負担軽減や選考の効率性を重視するため、発表形式の選考は1回のみ実施することにし、開催日を7月から8月に遅らせることで、準備時間に余裕を持たせてより質の高い発表がなされるよう配慮した。選考を通過した発表者には論文執筆を要請し、授賞選考は論文と録画ビデオによる発表内容を対象に10月に実施することにした。
- ② より質の高い発表が行われる工夫として、教員個人の他に、チームや学部、大学など組織レベルでの取り組みも発表対象とすることにし、組織の取り組みも評価することで、大学の教育業績や情報通信技術活用への理解の高まりにつながるようにした。
- ③ 発表募集の応募要件に、個人・グループの取り組みまたは学部・学科などの組織的取り組みを追加した。
- ④ 発表者や参加者を対象に教育効果を高めるための授業方法や工夫について啓蒙するため、毎年、実践事例による特別セミナーを発表終了後に実施してきたが、これまでの発表内容を見ても必ずしもセミナーが発表者の教育改善などに貢献していないため、セミナーはとりやめることにした。
- ⑤ 本発表会は教育の質向上のための教育方法の改善を趣旨としていることをより明確にするため、発表会の名称を「全国大学IT活用教育方法研究発表会」から「ICT利用による教育改善研究発表会」に変更することにし、運営委員会も上記のような新たな取り組みに向けて「ICT利用教育改善発表会」として改組し、対応することにした。



平成21年度 全国大学IT活用教育方法研究発表会